

平成25年4月24日

日本原子力発電株式会社

本日の敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合

第4回評価会合における審議について

(当社コメント)

本日、原子力規制委員会の「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合第4回評価会合」において、当社の敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関し議論が行われた。長時間の議論を頂いたが、当社が当該破砕帯は活断層ではないとして示した具体的データに対して、例えば年代判定や変位センスなどについて技術的決着をつけないまま一方的に不十分とし議論を打ち切ったこと、また当社から提起した疑問に対して、真正面から答えてもらえなかったことは誠に遺憾である。

そもそも、本有識者会合の評価は、バックフィット規制の権限行使の一環として行い、安全審査の前提として本件の結論を出すとしていることから、有識者会合が結論に至る根拠や理由について、事業者の説明する責任があると認識している。

当社としては、引き続き実施中の調査に精力的に取り組み、6月末までに調査を終了し、とりまとめて最終報告書を提出することとしている。この最終報告を踏まえ、評価会合において本日の論点について、科学的観点から改めて議論をさせて頂くよう、強く要請する。

以 上